

ひと たいせつ
人として大切にされ、
自分らしく生きる権利

1. あなたは、
病気や障害、年齢に関係なく、
人として大切にされ、
あなたらしく
生きる権利を
持っています。



びょういん おや たいせつ ひと
病院などで親や大切な人と
いっしょにいる権利

4. あなたは、医療を受けるとき、
お父さん、お母さん、
またはそれに代わる人と
できる限り
いっしょにいる
ことができます。



きぼう
希望どおりにならなかったときに
理由を説明してもらう権利

6. あなたの気持ち・希望・
意見の通りにすることが
できない場合は、
なぜそうなったのか、
その理由などについて
わかりやすい説明を受けたり、
その理由が納得できないときは、
さらにあなたの意見を伝えたり
する機会があります。



じぶん かって
自分のことを勝手に
だれかに言われない権利

8. あなたのからだや病気のこと、
あなたにとって大切な情報であり、
あなたのものです。
あなたらしく生活をするを守るために、
あなたのからだや病気、障害に関することが
他のひとに伝わらないように守られます。
また、だれかがあなたのからだや
病気、障害のことを他のひとに伝える
必要があるときには、その理由とともに
伝えてもよいかをあなたに確認をします。



くんれん う せんもんてき
訓練を受けた専門的なスタッフから
治療とケアを受ける権利

10. あなたは、必要な訓練を受け、
技術を身につけたスタッフによって
医療やケア(気配り、世話など)を
受ける権利を持っています。



こ いちばん
子どもにとって一番よいこと
(子どもの最善の利益)
を考えてもらう権利

2. あなたは、医療の場であなたに関係する
ことが決められるとき、すべてにおいて、
周囲のおとなに
それが「あなたにとって
もっともよいことか」を
第一に考えてもらえる
権利を持っています。



いりよう 医療における こ けんしょう 子ども憲章

2022年 3月
公益社団法人 日本小児科学会

こ みな
子どもの皆さんへ

この“憲章”は、すべてのみなさんが
平等に、そして当たり前にもっていて、
実現することを求めることができるもの
(権利)について知っていただくために、
わたしたち日本小児科学会が
作成したものです。

“すべてのみなさん”とは、
何歳でも、病気や障害があったとしても
関係なく、すべての子どものことです。
みなさんが、自分を大切にして、
楽しくすごせるように、
わたしたちはお手伝いしていきます。



いま しょうらい つづ
今だけではなく将来も続けて
医療やケアを受ける権利

11. あなたは継続的な医療やケア
(気配り、世話など)を
受けることができます。
また、日々の生活の中で
さまざまな立場のおとなに
支えてもらう権利を持っています。

あんしん あんぜん かんきょう せいかつ けんり
安心・安全な環境で生活する権利

3. あなたはいつでも自分らしく
健やかでいられるように、
安心・安全な環境で
生活できるよう
支えられる権利を持っています。
もし、あなたが病気になったときには、
安心・安全な場で、
できるだけ不安のないようなやり方で
医療ケア(こころやからだの健康の
ために必要なお世話)を受けられます。



ひつよう おし
必要なことを教えてもらい、
自分の気持ち・希望・意見を伝える権利

5. あなたは、自分の健康を
守るためのすべての情報について、
あなたにわかりやすい方法で、
説明を受ける権利を持っています。
そして、あなた自身の方法で、
自分の意思や意見を伝える
権利を持っていて、
できるだけその気持ち・
希望・意見の通りに
できるように努力してもらえます。



さべつ
差別されず、こころやからだを
傷つけられない権利

7. あなたは、病気や障害、
その他あらゆる面において
差別されることなく、
あなたのこころや
からだを傷つける
あらゆる行為から
守られます。



びょうき
病気のときも
遊んだり勉強したりする権利

9. あなたは、
病気や障害の有無に関わらず、
そして入院中や災害などを含み
どんなときも、年齢や症状などにあった
遊ぶ権利と学ぶ権利を持っていて、
あなたらしく生活することができます。



本憲章には解説版がございます。

必ずご覧くださいませよう
宜しくお願い致します。

解説版はこちらから

https://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php?content_id=143



また、お子さん、御家族にリーフレットとして
お渡しできるように
ポスターカード版も作成しておりますので、
場面に応じてご活用ください。